

注意事項

- 試験問題の数は110問で、解答時間は正味2時間30分である。
- 解答方法は次のとおりである。

(1) 各問題にはaからdまで4つの選択肢がある。そのうち質問に適した選択肢を(例1)では1つ、(例2)では2つ選び答案用紙に記入すること。

(例1) [問題 111] 県庁所在地はどれか。1つ選べ。
 a 栃木市
 b 川崎市
 c 神戸市
 d 倉敷市

(例2) [問題 112] 県庁所在地はどれか。2つ選べ。
 a 宇都宮市
 b 川崎市
 c 神戸市
 d 倉敷市

(例1)の正解は「c」であるから答案用紙の◎をマークすればよい。

答案用紙 たて の場合				
111	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ
			↓	
111	Ⓐ	Ⓑ	●	Ⓓ

答案用紙 よこ の場合	
111	111
Ⓐ	Ⓐ
Ⓑ	Ⓑ
Ⓒ	→ ●
Ⓓ	Ⓓ

(例2)の正解は「a」と「c」であるから答案用紙のⒶとⒸをマークすればよい。

答案用紙 たて の場合				
112	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ
			↓	
112	●	Ⓑ	●	Ⓓ

答案用紙 よこ の場合	
112	112
Ⓐ	●
Ⓑ	→ Ⓑ
Ⓒ	●
Ⓓ	Ⓓ

- 答案の作成にはHBの鉛筆を使用し、濃くマークすること。
 良い解答の例……●(濃くマークすること)
 悪い解答の例……⊖ ⊕ ⊗ ⊙ (解答したことにならない)
- 答えを修正した場合は、必ず「消しゴム」であとが残らないように完全に消すこと。鉛筆の色が残ったり「●」のような消し方などをした場合は、修正したことにならないので注意すること。
- ア (例1)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。
 イ (例2)の質問には1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。
- 答案用紙は折り曲げたりメモやチェックなどで汚したりしないよう特に注意すること。

〔問題 1〕 全身骨格前面の一部の写真(別冊午前 No. 1)を別に示す。

矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

- a 脛骨
- b 橈骨
- c 腓骨
- d 上腕骨

別冊 午前 No. 1 写真

〔問題 2〕 顔面の発生で人中を形成するのはどれか。1つ選べ。

- a 下顎突起
- b 上顎突起
- c 外側鼻突起
- d 内側鼻突起

〔問題 3〕 槓状根がみられる歯(FDI 歯式)はどれか。1つ選べ。

- a 35
- b 47
- c 55
- d 74

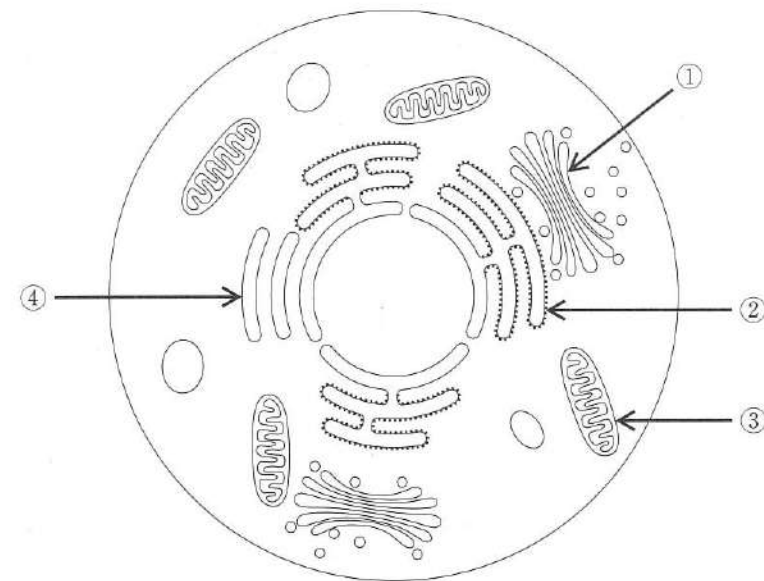
〔問題 4〕 口蓋骨の写真(別冊午前 No. 2)を別に示す。

矢印で示す孔を通過する神経が分布するのはどれか。1つ選べ。

- a 頬小体
- b 軟口蓋
- c 口蓋扁桃
- d 切歯乳頭

別冊
午前 No. 2 写真

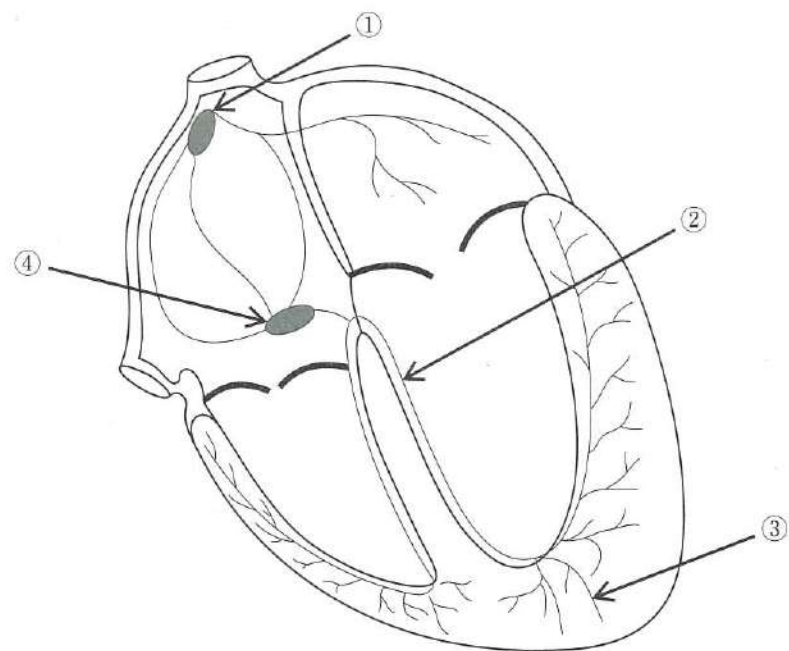
〔問題 5〕 細胞小器官を模式図に示す。



ATPを産生するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

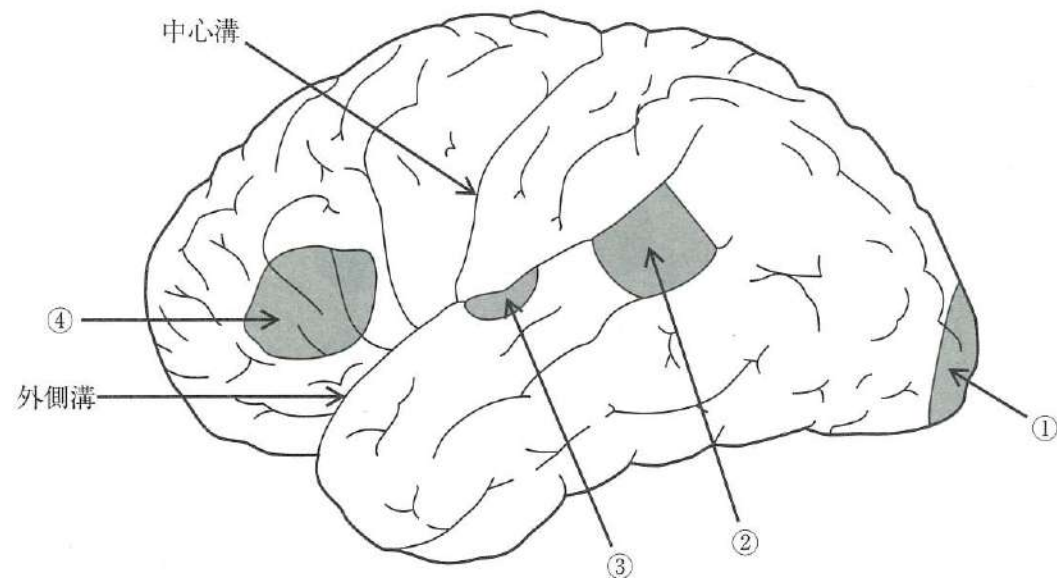
〔問題 6〕 心臓の興奮伝導系を模式図に示す。



一定のリズムで興奮し心房を収縮させるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

〔問題 7〕 大脳皮質の機能局在を模式図に示す。

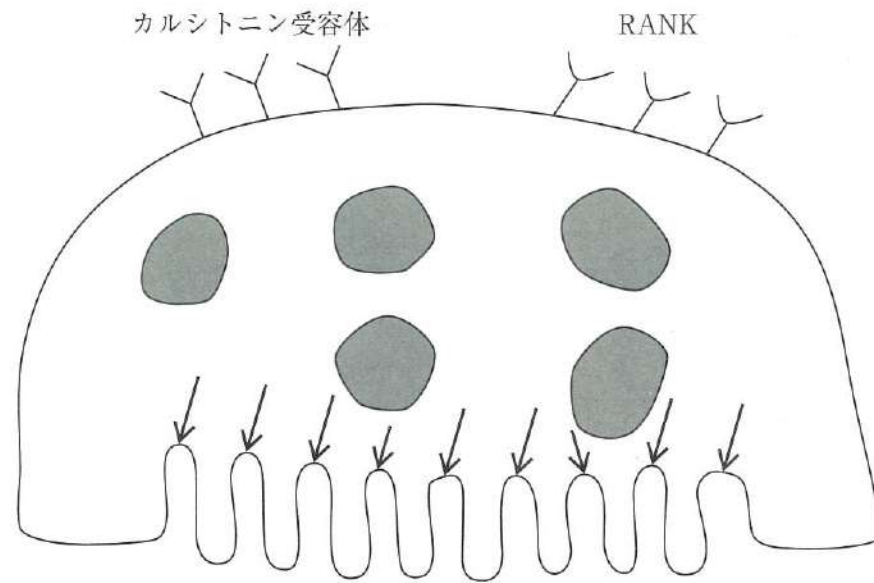


ブローカ野(運動性言語中枢)はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

採点対象から除外

〔問題 8〕 破骨細胞を模式図に示す。



矢印で示す部位から分泌されるのはどれか。1つ選べ。

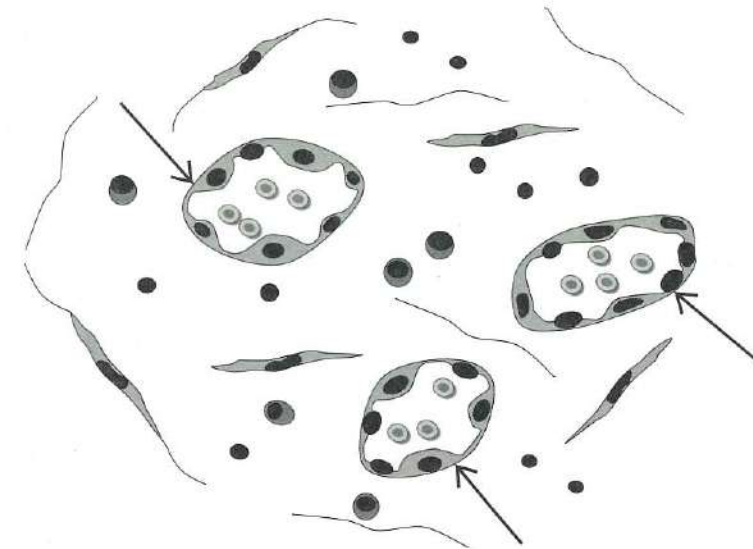
- a H^+
- b Ca^{2+}
- c HCO_3^-
- d HPO_4^{2-}

〔問題 9〕 軟組織にできる嚢胞はどれか。1つ選べ。

- a 歯根嚢胞
- b 粘液嚢胞
- c 鼻口蓋管嚢胞
- d 歯原性角化嚢胞

採点対象から除外

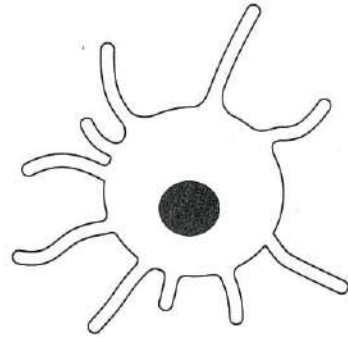
〔問題 10〕 肉芽組織を模式図に示す。



矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

- a 形質細胞
- b 毛細血管
- c リンパ球
- d 線維性結合組織

〔問題 11〕 免疫に関わる細胞を模式図に示す。



この細胞の機能はどれか。1つ選べ。

- a 抗原提示
- b 抗体産生
- c 補体産生
- d 好中球遊走

〔問題 12〕 リポ多糖〈LPS〉で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 熱に弱い。
- b グラム陽性菌に存在する。
- c ホルマリンで不活化される。
- d Toll 様レセプターに結合する。

〔問題 13〕 *Porphyromonas gingivalis* で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 微好気性菌
- b 通性嫌気性菌
- c 偏性嫌気性菌
- d 偏性好気性菌

複数選択肢正解として採用

〔問題 14〕 リドカイン塩酸塩にアドレナリンを添加した。

この薬物併用で示される作用はどれか。1つ選べ。

- a 拮抗作用
- b 刺激作用
- c 相乗作用
- d 補充作用

〔問題 15〕 核酸合成を阻害する抗菌薬はどれか。1つ選べ。

- a ペニシリン系
- b マクロライド系
- c ニューキノロン系
- d テトラサイクリン系

〔問題 16〕 グミゼリーからのグルコース溶出量で評価するのはどれか。1つ選べ。

- a 構音機能
- b 咀嚼能力
- c う蝕活動性
- d 最大咬合力

〔問題 17〕 名義尺度はどれか。1つ選べ。

- a 歯 数
- b 身 長
- c 西暦年
- d 都道府県

〔問題 18〕 手用歯ブラシのパッケージの記載を図に示す。

柄の材質 飽和ポリエステル樹脂
毛の材質 ナイロン
毛の硬さ ふつう
耐熱温度 60度

〇〇株式会社
東京都大田区〇〇町××番地
TEL: 03-△△△△-□□□□

この記載の根拠となるのはどれか。1つ選べ。

- a 食品衛生法
- b 食品表示法
- c 家庭用品品質表示法
- d 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

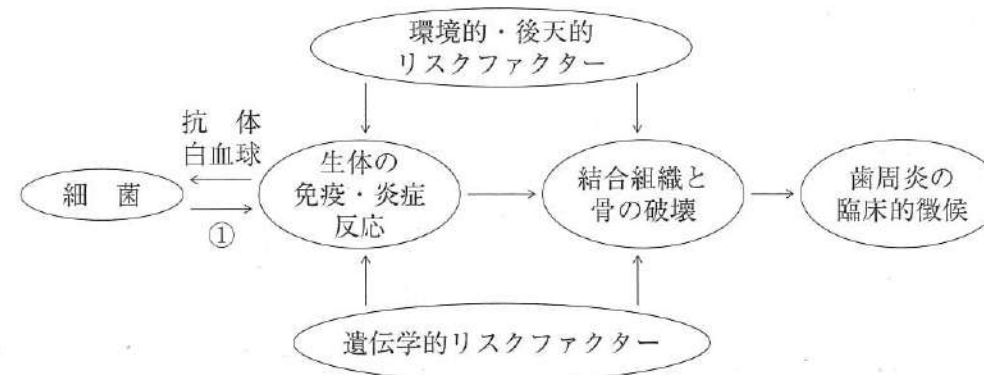
〔問題 19〕 プラークを検体とするう蝕活動性試験はどれか。1つ選べ。

- a Swab テスト
- b Dreizen テスト
- c レサズリンディスクテスト
- d グルコースクリアランステスト

〔問題 20〕 歯冠の発生中に作用することで永久歯のう蝕感受性を低下させるフッ化物応用はどれか。1つ選べ。

- a フッ化物洗口
- b フッ化物歯面塗布
- c フッ化物配合歯磨剤
- d 水道水フロリデーション

〔問題 21〕 歯周炎の発症モデルを図に示す。



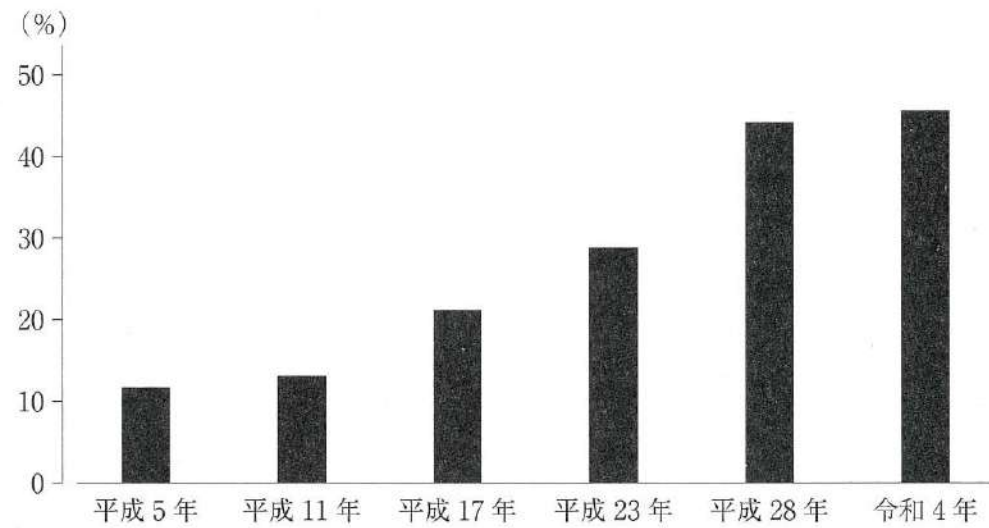
①はどれか。1つ選べ。

- a 咬合
- b 毒素
- c リゾチーム
- d ラクトフェリン

〔問題 22〕 顎関節症の要因となるのはどれか。2つ選べ。

- a 飲酒
- b 低栄養
- c ストレス
- d 過大な開口

〔問題 23〕 歯科疾患実態調査のある項目の結果を図に示す。



この図が示すのはどれか。1つ選べ。

- a 20～24歳でう歯をもつ者
- b 80～84歳で歯を20本以上有する者
- c 1～14歳でフッ化物歯面塗布をしたことのある者
- d 40～44歳で4mm以上の歯周ポケットを有する者

〔問題 24〕 暑さ指数〈湿球黒球温度〉の算出のために気温とともに用いられるのはどれか。2つ選べ。

- a 気圧
- b 気湿
- c 気流
- d 輻射熱

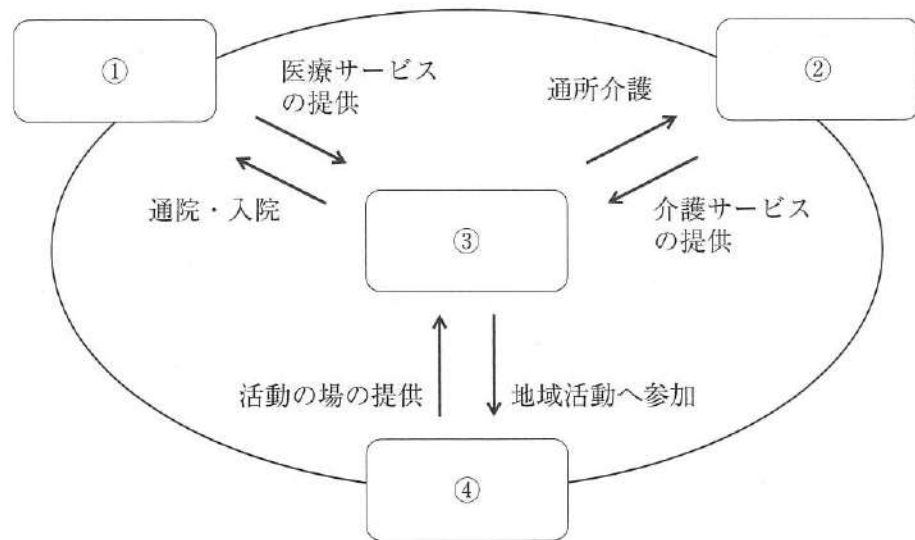
〔問題 25〕 感染成立の3要因を図に示す。



①への対策はどれか。1つ選べ。

- a 隔離
- b 検疫
- c 予防接種
- d マスクの着用

〔問題 26〕 地域包括ケアシステム概念を図に示す。



「住まい」はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

〔問題 27〕 に入る語句の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

フレイルとは ① に伴う ② 機能や予備能力の低下によって脆弱性が出現した状態である。

- | | ① | ② |
|---|-----|-----|
| a | 加 齢 | 心 身 |
| b | 疾 病 | 免 疫 |
| c | 障 害 | 身 体 |
| d | 老 化 | 認 知 |

〔問題 28〕 WHO を介して行政上の調整、技術・情報の交換などを行い、自国の健康水準の向上を図るのはどれか。1つ選べ。

- a 2 国間協力
- b 2 国間交流
- c 多国間協力
- d 多国間交流

〔問題 29〕 歯科訪問診療を行った歯科医師の指示に基づき、居宅療養管理指導として歯科衛生士が行えるのはどれか。1つ選べ。

- a 服薬状況の確認
- b 栄養ケア計画の作成
- c 感染根管治療の補助
- d 義歯の清掃方法の説明

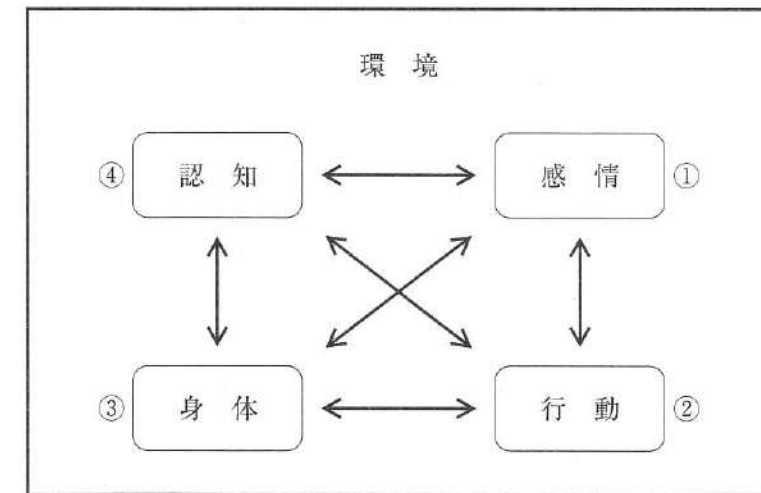
〔問題 30〕 母子保健法に基づく3歳児歯科健康診査の結果の一部を図に示す。

E	D	C	B	A	A	B	C	D	E
C	C	/	/	/	/	/	/	C	C
E	D	C	B	A	A	B	C	D	E
C	C	/	/	/	/	/	/	C	C

う蝕罹患型はどれか。1つ選べ。

- a A型
- b B型
- c C1型
- d C2型

〔問題 31〕 行動変容における認知行動療法の概念図を示す。



この療法で問題解決法の対象はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

〔問題 32〕 「ニュルンベルク綱領」の基本的原則に含まれるのはどれか。1つ選べ。

- a 医師は患者の健康を第一の関心事にする。
- b 患者は医療を継続して受ける権利を有する。
- c 被験者の自発的同意は絶対的本質的なものである。
- d 医療者は患者の最善の利益のために行動すべきである。

採点対象から除外

〔問題 33〕 歯科診療所の医療安全管理対策として行う医療機器の安全使用のための研修で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 開設者が実施する。
- b 研修実施内容を記録する。
- c 従事者全員を対象とする。
- d 使用経験のない医療機器の導入時に実施する。

〔問題 34〕 歯科口腔保健の推進に関する法律第15条に定められている口腔保健支援センターが、国及び地方公共団体の施策実施のために支援を行うのはどれか。

1つ選べ。

- a 高齢者に対する総合相談支援
- b 地域住民に対する健康相談・保健指導
- c 地域保健に関する思想の普及及び向上
- d 歯科医療等業務に従事する者等への情報提供

〔問題 35〕 誘発痛を指標に評価する検査法はどれか。1つ選べ。

- a 透照診
- b 歯髄電気診
- c 歯周ポケット測定検査
- d レーザー蛍光強度測定

〔問題 36〕 甲状腺機能亢進症患者にみられるのはどれか。2つ選べ。

- a 喘鳴
- b 多尿
- c 動悸
- d 眼球突出

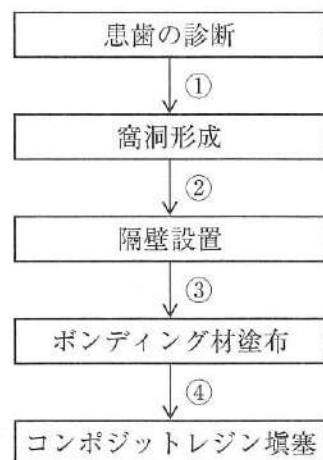
〔問題 37〕 摂食嚥下機能検査中の画像(別冊午前 No. 3)を別に示す。

矢印で示すのはどれか。1つ選べ。

- a 舌骨
- b 喉頭蓋
- c 甲状軟骨
- d 披裂軟骨

別冊 午前 No. 3 写真

〔問題 38〕 下顎右側第一小白歯遠心面のう蝕に対して、コンポジットレジン修復を行うことになった。治療過程を図に示す。



プレウエッジテクニックのウエッジの挿入時期はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

〔問題 39〕 43歳の男性。上顎前歯の変色を主訴として来院した。小学生の頃から編模様が気になっていたという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 4)を別に示す。

考えられる変色の原因はどれか。1つ選べ。

- a 歯髄の失活
- b フッ化物の過剰摂取
- c コーヒー飲料品の色素成分の付着
- d テトラサイクリン系抗菌薬の長期服用

別冊
午前 No. 4 写真

〔問題 40〕 54歳の女性。下顎左側第二小白歯の冷水痛を主訴として来院した。咬合面および遠心面にう蝕を認めたため修復処置が行われることになった。製作した修復物の写真(別冊午前 No. 5)と装着時の操作内容(別冊午前 No. 6)を別に示す。

操作内容で3番目に行うのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊
午前 No. 5 写真
午前 No. 6 図

〔問題 41〕 23歳の男性。下顎左側第一大臼歯の冷水痛を主訴として来院した。自発痛はないという。暫間的間接覆髄が行われることになった。水酸化カルシウム製剤貼付前の口腔内写真(別冊午前 No. 7)を別に示す。

この治療法を選択した目的はどれか。2つ選べ。

- a 感染歯質の除去
- b 歯髄組織の保護
- c 軟化象牙質の再石灰化
- d デンティンブリッジ形成促進

別冊
午前 No. 7 写真

〔問題 42〕 アベキソゲネーシスで期待できるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯根の成長
- b 歯髄の再生
- c 根尖病変の治療
- d セメント質様硬組織の添加

〔問題 43〕 32歳の男性。歯ぐきからの出血と排膿が続くようになったことを主訴として来院した。数年前から歯の動揺が気になっていたという。22歳から毎日10本の喫煙をしているが、全身的な疾患はない。歯周基本治療時の口腔内写真(別冊午前 No. 8 A、B、C)と初診時のエックス線画像(別冊午前 No. 8 D)を別に示す。

この疾患の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 栄養障害が原因である。
- b 家族内集積が認められる。
- c 歯槽骨の破壊が急速である。
- d 辺縁歯肉の壊死と潰瘍を認める。

別冊
午前 No. 8 A、B、C、D 写真

〔問題 44〕 55歳の女性。下顎左側小白歯部のブラッシングがしにくいことを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 9)を別に示す。

ブラッシングを困難にしている歯肉歯槽粘膜の異常はどれか。2つ選べ。

- a 潰瘍
- b 歯肉増殖
- c 口腔前庭の狭小
- d 小帯の高位付着

別冊
午前 No. 9 写真

〔問題 45〕 67歳の女性。上顎左側小白歯の動揺を主訴として来院した。上顎左側第一小白歯の近心に深い歯周ポケットを認めた。歯周基本治療後、同部位にエナメルマトリックスタンパク質を用いた歯周外科処置を行うこととなった。初診時のエックス線画像(別冊午前 No.10A)と不良肉芽組織除去後および縫合直前の口腔内写真(別冊午前 No.10B、C)を別に示す。

この手術で再生するのはどれか。2つ選べ。

- a 歯槽骨
- b 象牙質
- c エナメル質
- d セメント質

別冊
午前 No. 10 A、B、C 写真

〔問題 46〕 適合試験材を用いた部分床義歯内面の状態の写真(別冊午前 No.11)を別に示す。義歯調整を行うことになった。

使用する器材はどれか。2つ選べ。

- a ロビンソンブラシ
- b シリコーンポイント
- c カーボランダムポイント
- d タングステンカーバイトバー

別冊
午前 No. 11 写真

〔問題 47〕 下顎前歯部の支台歯形成後、CAD/CAMシステムでクラウンを製作することになった。印象採得に用いた器具の写真(別冊午前 No.12A)と印象採得時の口腔内写真(別冊午前 No.12B)を別に示す。

従来の精密印象採得法と比較したこの方法の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 止血操作が不要
- b 医療廃棄物の削減
- c 個人トレーが必要
- d デジタルデータの保存が可能

別冊
午前 No. 12 A、B 写真

〔問題 48〕 48歳の女性。上顎前歯部の審美不良を主訴として来院した。診察の結果、オールセラミッククラウンを製作することになった。クラウン製作時の一過程の写真(別冊午前 No.13)を別に示す。

目的はどれか。1つ選べ。

- a 咬合採得
- b 発音検査
- c 適合性の確認
- d 歯冠色調の確認

別冊
午前 No. 13 写真

〔問題 49〕 欠乏により貧血の原因となるのはどれか。2つ選べ。

- a 葉酸
- b ビタミンA
- c ビタミンC
- d ビタミンB₁₂

〔問題 50〕 59歳の女性。口渴感と舌の違和感を主訴として来院した。6か月前から自覚していたが様子を見ていたところ、1か月前から水がないと食事がしにくくなったという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.14A)と検査に用いた器材の写真(別冊午前 No.14B)を別に示す。

検査はどれか。1つ選べ。

- a 味覚検査
- b ガムテスト
- c サクソンテスト
- d シルマーテスト

別冊
午前 No. 14 A、B 写真

〔問題 51〕 32歳の男性。口唇の異常を主訴として来院した。最近仕事が忙しく強い疲労感を自覚しているという。2日前から下唇の違和感を自覚していたが様子を見ていたところ、昨日から疼痛を自覚するようになったという。口唇ヘルペスと診断された。初診時の顔貌の一部の写真(別冊午前 No.15)を別に示す。

本疾患の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 強い神経痛様疼痛を示す。
- b 小水疱は破れてびらん・痂皮を形成する。
- c 初期には灼熱感、掻痒感を伴うことが多い。
- d 2型の単純ヘルペスウイルスが主な原因である。

別冊
午前 No. 15 写真

〔問題 52〕 54歳の女性。舌の異常を主訴として来院した。2週前に着色を自覚したが、疼痛がないため様子を見ていたという。現在、気管支喘息、市中肺炎、高血圧症および糖尿病に対して薬物療法を受けているという。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.16)を別に示す。

原因と考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 降圧薬
- b 抗菌薬
- c 血糖降下薬
- d 副腎皮質ステロイド薬

別冊
午前 No. 16 写真

〔問題 53〕 頭蓋骨の写真(別冊午前 No.17)を別に示す。

Scammon 〈スキヤモン〉の臓器発育曲線で一般型の成長を示すのはどれか。

1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊
午前 No. 17 写真

〔問題 54〕 上下顎右側第一大臼歯の石膏模型の咬合面観の写真(別冊午前 No.18

A、B)を別に示す。

Angle 〈アングル〉I級で、上顎右側第一大臼歯の矢印で示す部位が接触するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊
午前 No. 18 A、B 写真

〔問題 55〕 10歳の女児。上顎前歯の歯ならびが気になることを主訴として来院した。

顔面写真(別冊午前 No.19A)、口腔内写真(別冊午前 No.19B)および治療に用いた装置の写真(別冊午前 No.19C)を別に示す。

期待できる効果はどれか。1つ選べ。

- a 下顎前歯の唇側移動
- b 下顎骨の前方成長促進
- c 上顎大白歯の近心移動
- d 上顎骨の前方成長抑制

別冊
午前 No. 19 A、B、C 写真

〔問題 56〕 6歳の男児。母親とともに定期歯科健康診査のため来院した。口腔内診査の

結果、永久歯への生え代わりはなく、下顎前歯部の歯間部に空隙が認められた。口腔内写真(別冊午前 No.20)を別に示す。

この空隙はどれか。1つ選べ。

- a 顎間空隙
- b 鼓形空隙
- c 発育空隙
- d 霊長空隙

別冊
午前 No. 20 写真

〔問題 57〕 5歳の女児。う蝕が原因で下顎左側第一乳臼歯を抜去した後、装置を装着した。装着時の口腔内写真(別冊午前 No.21)を別に示す。

この装置の目的はどれか。1つ選べ。

- a 舌圧の排除
- b 咬合力の回復
- c 対合歯の挺出防止
- d 近遠心的空隙の保持

別冊
午前 No. 21 写真

〔問題 58〕 情動の発達で生後6か月頃から現れるのはどれか。2つ選べ。

- a 愛情
- b 怒り
- c 恐れ
- d 得意

〔問題 59〕 86歳の女性。特別養護老人ホームに入居している。エプロンが気になって食事に集中しない。食事動作を中断して動かない様子がミールラウンドで観察された。患者の写真(別冊午前 No.22)を別に示す。

疑われるのはどれか。1つ選べ。

- a 脳血管性認知症
- b 前頭側頭型認知症
- c Lewy〈レビー〉小体型認知症
- d Alzheimer〈アルツハイマー〉型認知症

別冊
午前 No. 22 写真

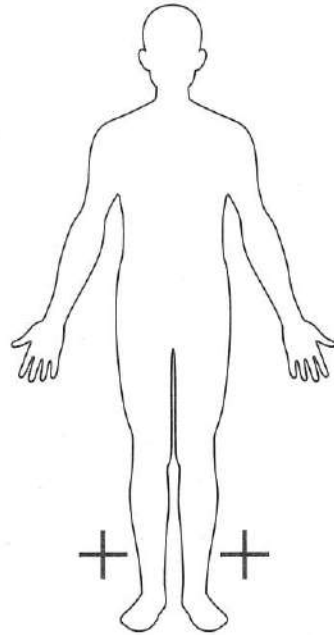
〔問題 60〕 75歳の女性。胃食道逆流症の既往があり、現在は在宅だが誤嚥性肺炎で入退院を繰り返している。口腔内の衛生状態は良好であり、普段の食事でもせはないという。嚥下内視鏡検査時の食物および飲料嚥下後の喉頭周囲の写真(別冊午前 No.23)を別に示す。

誤嚥性肺炎の原因として疑われるのはどれか。2つ選べ。

- a 食物
- b 唾液
- c 飲料水
- d 逆流した胃内容物

別冊
午前 No. 23 写真

〔問題 61〕 脳性麻痺患者における麻痺のある部位を「+」で表す模式図を示す。



麻痺の部位による分類はどれか。1つ選べ。

- a 片麻痺
- b 単麻痺
- c 対麻痺
- d 両麻痺

〔問題 62〕 10歳の男児。自閉スペクトラム症と診断されている。術者によるブラッシングができるように指導を行った。行動療法中の写真(別冊午前 No.24 A、B、C、D)を別に示す。

行ったのはどれか。1つ選べ。

- a 系統的脱感作法
- b Tell-Show-Do 法
- c フラッピング法
- d トークンエコノミー法

別冊
午前 No. 24 A、B、C、D 写真

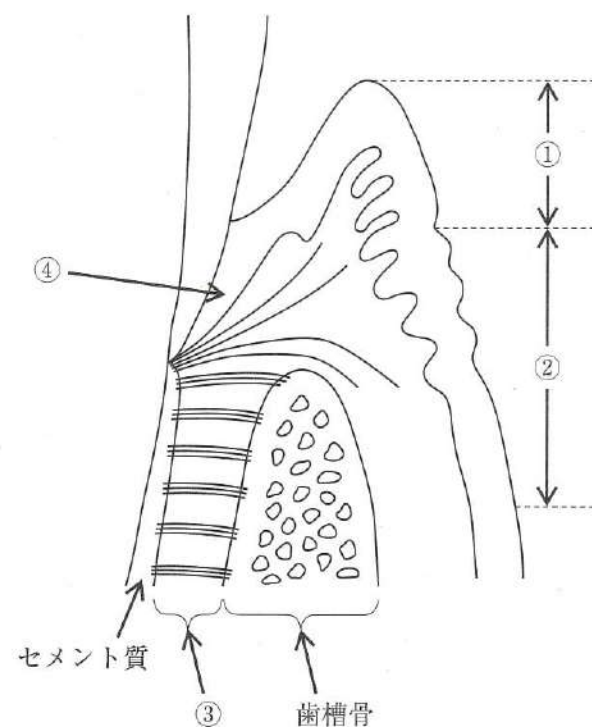
〔問題 63〕 疾病予防の概念で歯周病の第二次予防に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a PMTC
- b 禁煙指導
- c 歯周疾患検診
- d 口腔機能回復治療

〔問題 64〕 う蝕の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 根面う蝕は環状に進行する。
- b 急性う蝕は穿下性に進行する。
- c 慢性う蝕は穿通性に進行する。
- d 平滑面エナメル質う蝕はエナメル象牙境を頂点とした円錐形を呈する。

〔問題 65〕 歯周組織の模式図を示す。



①～④の説明で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ①は角化上皮で覆われている。
- b ②は可動性の粘膜である。
- c ③はコラーゲン線維に富んでいる。
- d ④は歯と結合組織付着している。

〔問題 66〕 患者への口腔清掃方法の指導で改善を期待できるのはどれか。2つ選べ。

- a 口臭
- b 咬耗症
- c 歯肉の炎症
- d メラニン色素沈着

〔問題 67〕 下顎左側白歯部のエックス線画像(別冊午前 No.25)を別に示す。

画像から認められるのはどれか。2つ選べ。

- a 根尖病巣
- b 歯石の付着
- c エナメル真珠
- d 歯槽硬線の消失

別冊
午前 No. 25 写真

〔問題 68〕 口腔内写真(別冊午前 No.26)を別に示す。

前歯部を対象としたPMA Indexの評価部位はどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊
午前 No. 26 写真

〔問題 69〕 歯周組織検査中の写真(別冊午前 No.27)を別に示す。矢印で示す方向にのみ 0.5 mm の動揺が確認された。

Miller の分類で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 0度
- b 1度
- c 2度
- d 3度

別冊
午前 No. 27 写真

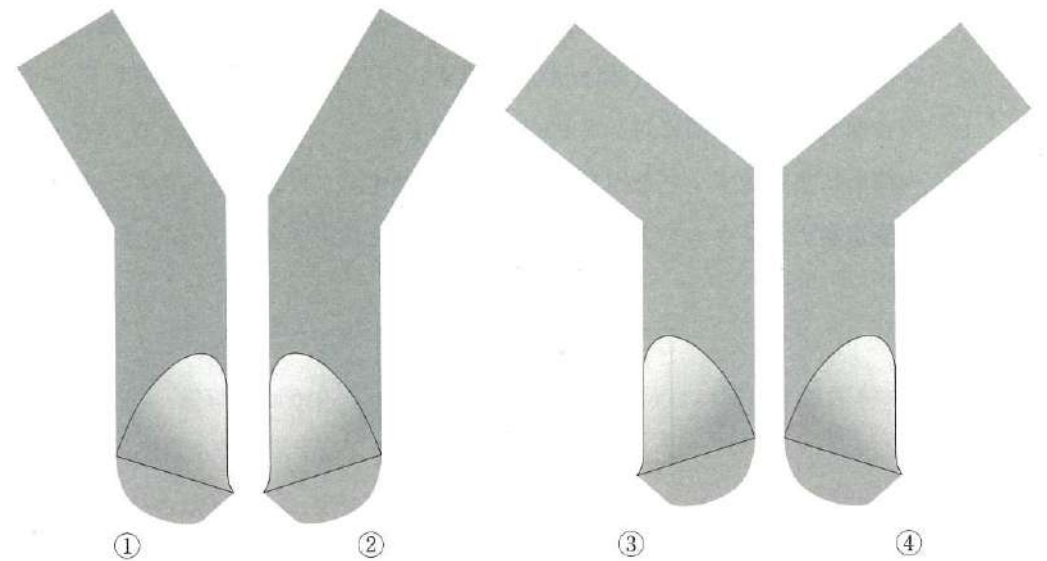
〔問題 70〕 超音波スケーラーのチップと水流の写真(別冊午前 No.28)を別に示す。

使用法で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 術前に口腔外で水流の確認を行う。
- b チップの先端をポケット底部まで挿入する。
- c チップは 30 度で歯に当てる。
- d 50 g の側方圧をかける。

別冊
午前 No. 28 写真

〔問題 71〕 グレーシータイプキュレットを刃部先端からみた模式図を示す。



下顎右側第一大臼歯舌側遠心の縁下歯石を除去するのに適しているのはどれか。

1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

〔問題 72〕 38歳の女性。歯面の着色を主訴として来院した。妊娠高血圧の治療を行っているという。着色除去に用いる機器の写真(別冊午前 No.29)を別に示す。

対応で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ノズルの先端を歯面から 20~50 mm 離す。
- b 咬合面では咬合平面に対して 90 度で使用する。
- c 一箇所に集中せず小さな円を描くように動かす。
- d 炭酸水素ナトリウムを主成分とするパウダーを使用する。

別冊
午前 No. 29 写真

〔問題 73〕 75歳の男性。慢性歯周炎に対する歯周基本治療終了後、3か月間隔で歯周病のメンテナンスと初期の根面う蝕の管理としてフッ化物歯面塗布を行っている。来院時、歯周ポケットの検査を行った後に用いる器材の写真(別冊午前 No.30)を別に示す。

3番目に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊
午前 No. 30 写真

〔問題 74〕 5歳の男児。歯科医師からフッ化物歯面塗布を指示され、リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液(第Ⅱ法)を 2 mL 準備した。

溶液に含まれるフッ素量はどれか。1つ選べ。

- a 0.018 mg
- b 0.04 mg
- c 4 mg
- d 18 mg

〔問題 75〕 歯科医師からう蝕予防処置の指示を受けた。使用する器材の写真(別冊午前 No.31)を別に示す。

正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 簡易防湿は不要である。
- b 上下顎同時に実施できる。
- c 実施直後に軽くうがいをさせる。
- d やや仰向きの姿勢で軽くかませる。

別冊
午前 No. 31 写真

〔問題 76〕 フッ化物配合歯磨剤の応用で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a うがいが可能な年齢から使用する。
- b 年齢に応じたフッ化物濃度を選択する。
- c 永久歯萌出が完了するまでの使用を勧める。
- d ブラッシング後に歯磨剤が口の中に残らないようにうがいをする。

〔問題 81〕 中学1年生を対象とした歯科保健教育を実施することになった。教材として使用した15歳女子の口腔内写真(別冊午前 No.33)を別に示す。

この写真を用いて指導できるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉腫に関するリスク因子
- b デンタルフロスの使用の必要性
- c 不良補綴装置の歯肉に対する為害性
- d ホルモンの変化と歯肉炎との関連性

別冊
午前 No. 33 写真

〔問題 82〕 80歳の女性。2年前に転倒により骨折して以来、外出時は車いすを使用している。町内会の役員を継続することを望み、週に3回介護予防通所リハビリテーションに通っている。

国際生活機能分類(ICF)で下線部に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 活動
- b 参加
- c 健康状態
- d 心身機能・身体構造

〔問題 83〕 78歳の男性。薬剤関連顎骨壊死(MRONJ)の経過観察で来院した。ブラッシング時に矢印で示す部位の疼痛を訴えている。口腔内写真(別冊午前 No.34)を別に示す。

適切な口腔衛生指導はどれか。2つ選べ。

- a 患部にフッ化物ジェルを塗布する。
- b アルコールを含まない洗口剤で含嗽する。
- c 患部の食渣をスポンジブラシで除去する。
- d 疼痛がある間は歯ブラシの使用を中止する。

別冊
午前 No. 34 写真

〔問題 84〕 84歳の男性。脳梗塞で右側の半身麻痺がある。患者の口腔清掃の状況を図に示す。

- ・座って歯ブラシを使って頬側を磨くことができる。
- ・義歯をはめることができるが、外すことができない。
- ・水を口に含んで吐き出すことができる。

BDR指標で正しいのはどれか。1つ選べ。

- | | | | |
|---|----|---|---|
| | B | D | R |
| a | a1 | b | a |
| b | a2 | b | b |
| c | b1 | b | b |
| d | b2 | a | b |

〔問題 85〕 中学3年生を対象とした「総合的な学習の時間」で、食生活に関する健康教育を行うことになった。

生徒の主体的な参加を促すための効果的な方法はどれか。2つ選べ。

- a 加糖飲料に含まれる砂糖量の展示
- b 中学生の食生活に関する探究的学習
- c 生徒の1週間の食生活記録の振り返り
- d 生活習慣病予防のための啓発動画の視聴

〔問題 86〕 再生不良性貧血患者の口腔内写真(別冊午前 No.35)を別に示す。

口腔衛生管理で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a SRP の実施
- b 保湿剤の塗布
- c 出血部位の確認
- d 毛先の硬い歯ブラシの使用

別冊
午前 No. 35 写真

〔問題 87〕 80歳の男性。5年前に脳梗塞を発症し、現在在宅療養中で、意識障害があるという。口臭が強いことを主訴として家族から歯科訪問診療の依頼を受けた。歯科医師から口腔衛生管理を指示された。口腔清掃時の写真(別冊午前 No.36)を別に示す。

この患者に行うのはどれか。2つ選べ。

- a 頭部の後屈
- b 歯の動揺の確認
- c ラポールの形成
- d リクライニング位の設定

別冊
午前 No. 36 写真

〔問題 88〕 80歳の女性。舌癌に対する舌部分切除術後2週が経過した。現在在宅療養中である。体重に変化はないという。経口摂取を進めるために評価を行った結果を表に示す。

評価項目	結果
RSST	3回/30秒
MWST	4(嚥下あり・呼吸良好・むせなし)
DSS*	5(先行期から口腔期まで問題あり)

※ DSS：臨床摂食嚥下障害重症度分類

患者に対する適切な指導はどれか。2つ選べ。

- a ゆっくりと食べましょう。
- b 一口の量を少なめにしましょう。
- c 栄養補助食品を中心に食べましょう。
- d 口を大きく開かないようにしましょう。

〔問題 89〕 83歳の女性。定期歯科健康診査のため来院した。最近食べこぼしが多いという。口腔機能検査の結果と口腔機能低下の基準値を表に示す。

	検査結果	基準値
TCI (Tongue Coating Index)	33 %	50 % 以上
口腔水分計	27.5	27 未満
残存歯数 (残根と動揺度3の歯を除く)	23本	20本 未満
舌口唇運動		
パ	3回/秒	6回/秒 未満
タ	7回/秒	6回/秒 未満
カ	7回/秒	6回/秒 未満
舌圧	33 kPa	30 kPa 未満
グルコセンサー	120 mg/dL	100 mg/dL 未満
EAT-10	1点	3点以上

適切な指導内容はどれか。2つ選べ。

- a 口唇のストレッチ
- b 唾液腺マッサージ
- c 吹き戻し笛の訓練
- d とろみ調整食品の活用

〔問題 90〕 87歳の女性。腰椎の骨折のため在宅療養中である。家族から「最近食事が減り、野菜しか食べず、体重も減ってきている。また、疲れやすいようで、日中もベッド上で過ごすことが多い。」と相談を受けた。MNA[®]-SFの評価は6点であった。摂食嚥下機能に問題はない。

家族への食事指導として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 汁物にはとろみをつけましょう。
- b タンパク質を多く含む食品を摂りましょう。
- c 本人の好きなものだけを食べさせましょう。
- d 食事量が少ないときは高カロリー食品を活用しましょう。

〔問題 91〕 摂食嚥下障害を有する患者の口腔衛生管理時の写真(別冊午前 No.37)を別に示す。

患者の姿勢で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊
午前 No. 37 写真

〔問題 92〕 印象体から撤去した直後の模型の写真(別冊午前 No.38)を別に示す。

感染対策として模型に行うのはどれか。1つ選べ。

- a EOG 滅菌を実施
- b 10%ホルマリン溶液に浸漬
- c 2%グルタラル溶液で清拭
- d アルコール系消毒薬を噴霧して密閉

別冊
午前 No. 38 写真

〔問題 93〕 セラミックインレーの装着に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a リン酸亜鉛セメント
- b 接着性レジンセメント
- c グラスアイオノマーセメント
- d ポリカルボキシレートセメント

〔問題 94〕 仮封材の性質と特徴を表に示す。

	窩洞との 密着	除去法	特 徴
①	◎	機械的	除去が容易
②	○	機械的、溶剤	歯髄に対して鎮静効果がある
③	×	加熱軟化	操作しやすいが脱落しやすい
④	○	機械的	操作しやすく除去が容易

◎：より良好
○：良好
×：不良

水硬性仮封材はどれか。1つ選べ。

ただし、①～④は、酸化亜鉛ユージノールセメント、水硬性仮封材、テンポラリー
ストップング、レジン系仮封材のいずれかである。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

〔問題 95〕 30歳の男性。上顎右側第二小白歯の一過性の冷水痛を主訴として来院
した。検査の結果、コンポジットレジン修復を行うことになった。う蝕除去後の
口腔内写真(別冊午前 No.39A)と器具の写真(別冊午前 No.39B)を別に示す。

次に使用するのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別 冊
午前 No. 39 A、B 写真

〔問題 96〕 50歳の男性。上顎左側第一大臼歯の自発痛を主訴として来院した。

3か月前から強い冷水痛があったがそのままにしていたところ、昨夜食事中に修復物が脱離して、自発痛が生じたという。冷水を口に含むと一時的に疼痛が緩和するという。打診痛を認めた。急性化膿性歯髄炎と診断された。ラバーダム装着後の口腔内写真(ミラー像)(別冊午前 No.40A)、初診時のエックス線画像(別冊午前 No.40B)および器具の写真(別冊午前 No.40C)を別に示す。

次の操作で使用するのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別 冊
午前 No. 40 A、B、C 写真

〔問題 97〕 器具の写真(別冊午前 No.41)を別に示す。

歯肉切除術に使用するのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別 冊
午前 No. 41 写真

〔問題 98〕 全部床義歯の製作時に用いる器具の写真(別冊午前 No.42)を別に示す。

この器具を用いるのはどれか。1つ選べ。

- a 概形印象採得
- b 筋圧形成
- c 下顎安静位の計測
- d 水平的顎間関係の記録

別 冊
午前 No. 42 写真

〔問題 99〕 72歳の女性。下顎の部分床義歯が合わないため、義歯の新製を主訴として来院した。印象用トレーの写真(別冊午前 No.43)を別に示す。

このトレーを用いて印象採得するための印象材はどれか。1つ選べ。

- a 寒天印象材
- b シリコーンゴム印象材
- c モデリングコンパウンド
- d 酸化亜鉛ユージノール印象材

別 冊
午前 No. 43 写真

〔問題 100〕 64歳の男性。下唇の腫脹を主訴として来院した。半年前から同症状の再発と消失を繰り返しているという。診断の結果、無痛性の腫瘤の内部に粘液が貯留しており、摘出することになった。器具の写真(別冊午前 No.44)を別に示す。

使用するのどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別冊
午前 No. 44 写真

〔問題 101〕 42歳の男性。多数菌のインプラント手術を予定している。強い不安を抱いているため、鎮静法で手術することになった。鎮静法の術式の流れを図に、使用する機器の写真(別冊午前 No.45)を別に示す。



①はどれか。1つ選べ。

- a 局所麻酔
- b 静脈路の確保
- c 酸素吸入の開始
- d 鼻マスクの装着

別冊
午前 No. 45 写真

〔問題 102〕 矯正歯科治療用器具の写真(別冊午前 No.46)を別に示す。

適切な用途はどれか。1つ選べ。

- a アーチワイヤーの屈曲
- b マルチブラケットの位置決め
- c 歯冠近遠心径と歯列弓長径の計測
- d バンドへのアタッチメント点溶接

別 冊
午前 No. 46 写真

〔問題 103〕 86歳の女性。脳梗塞の既往があり要介護認定を受けている。家族から義歯修理の依頼があり、歯科訪問診療を行った。口腔乾燥が顕著であり、乾燥痰が多く付着していたため、歯科医師から口腔衛生管理の指示を受けた。

乾燥痰を除去する際の対応として正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 毛の硬い歯ブラシを使用する。
- b 少量の水で乾燥痰を湿潤させる。
- c 頸部は前屈させた状態を保持する。
- d 歯ブラシを口蓋の前方から後方へ動かす。

〔問題 104〕 7歳の男児。歯の痛みを主訴として来院した。ADHD(注意欠陥多動性障害)

と診断され、治療を受けているという。歯科診療に慣れておらず、緊張した様子だったため、診療に関する説明は抽象的な表現を用い、人が多い空間で対応することを心掛けた。^①急な起き上がりに配慮し、^②1回の処置時間は長く設定した。^③

下線部で正しい対応はどれか。1つ選べ。^④

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

〔問題 105〕 23歳の女性。上顎左側側切歯の着色を主訴として来院した。歯科医師から二等分法によるデジタルエックス線撮影を行う準備をするように指示された。使用する器材の写真(別冊午前 No.47)を別に示す。

この撮影に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

別 冊
午前 No. 47 写真

〔問題 106〕 健常小児の運動機能の発達で定額が認められる時期はどれか。1つ選べ。

- a 3～4か月
- b 7～8か月
- c 12～14か月
- d 16～18か月

〔問題 107〕 地域支援事業の一環として実施されている、高齢者の「通いの場」での
歯科衛生士の役割はどれか。2つ選べ。

- a 「健口体操」の指導
- b 服薬管理についての講話
- c 口腔機能の簡単なアセスメントの実施
- d 独居高齢者を対象とした食事会の開催

〔問題 108〕 口腔機能訓練器具の写真(別冊午前 No.48)を別に示す。

この器具を用いた機能訓練で改善が期待できる発音はどれか。2つ選べ。

- a ヒ
- b フ
- c マ
- d ヨ

別冊
午前 No. 48 写真

〔問題 109〕 17歳の女子。脳性麻痺の診断を受けており、家族から「最近食事の時に
むせるのが気になる。」と相談を受けた。家族の食事介助の様子(別冊午前 No.49
A、B)を別に示す。

家族への指導として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 頭をやや前屈させましょう。
- b 一口量を少なくしましょう。
- c 横向きに寝かせて食べさせましょう。
- d ボウル部の深いスプーンを使いましょう。

別冊
午前 No. 49 A、B 写真

〔問題 110〕 70 歳の男性。食べづらさを主訴として来院した。脳梗塞の既往がある。

口腔機能低下症の検査結果を表に示す。

評価項目	該 当
口腔不潔	な し
口腔乾燥	な し
咬合力低下	な し
舌口唇運動機能低下	あ り
低舌圧	あ り
咀嚼機能低下	な し
嚥下機能低下	な し

適切な口腔機能訓練はどれか。2つ選べ。

- a 舌抵抗訓練
- b アイスマッサージ
- c 口唇の可動域訓練
- d バルーン拡張訓練

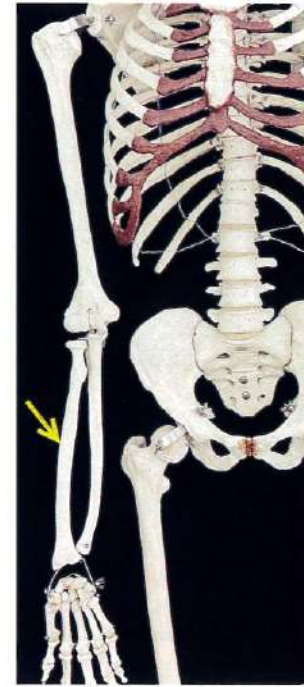
34

午 前

別 冊

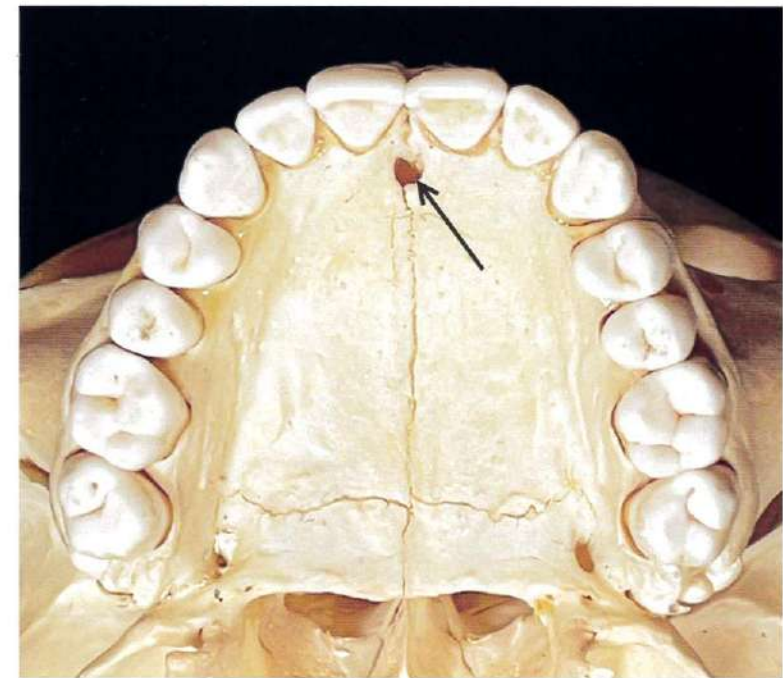
No. 1 写真

(問題1)



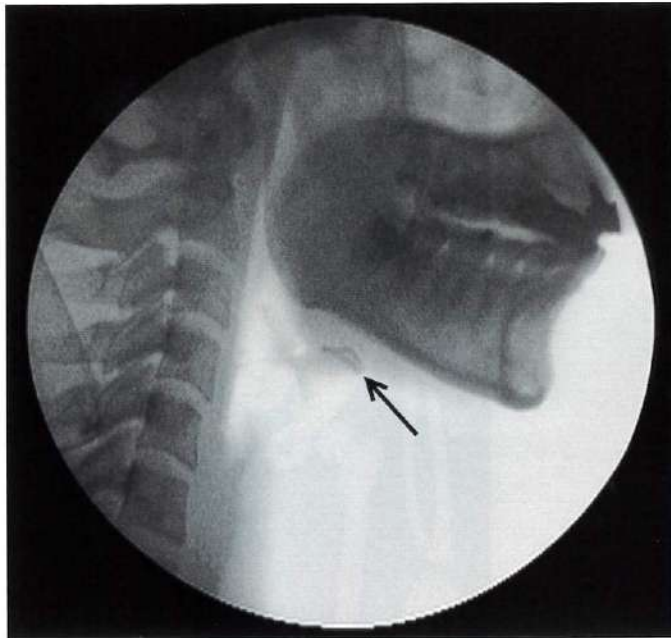
No. 2 写真

(問題4)



No. 3 写真

(問題 37)



No. 4 写真

(問題 39)



No. 5 写真

(問題 40)



No. 6 図

(問題 40)

- ① 装着
- ② 咬合調整
- ③ 隣接面の調整
- ④ シランカップリング剤の塗布

No. 7 写真

(問題 41)



No. 8 写真

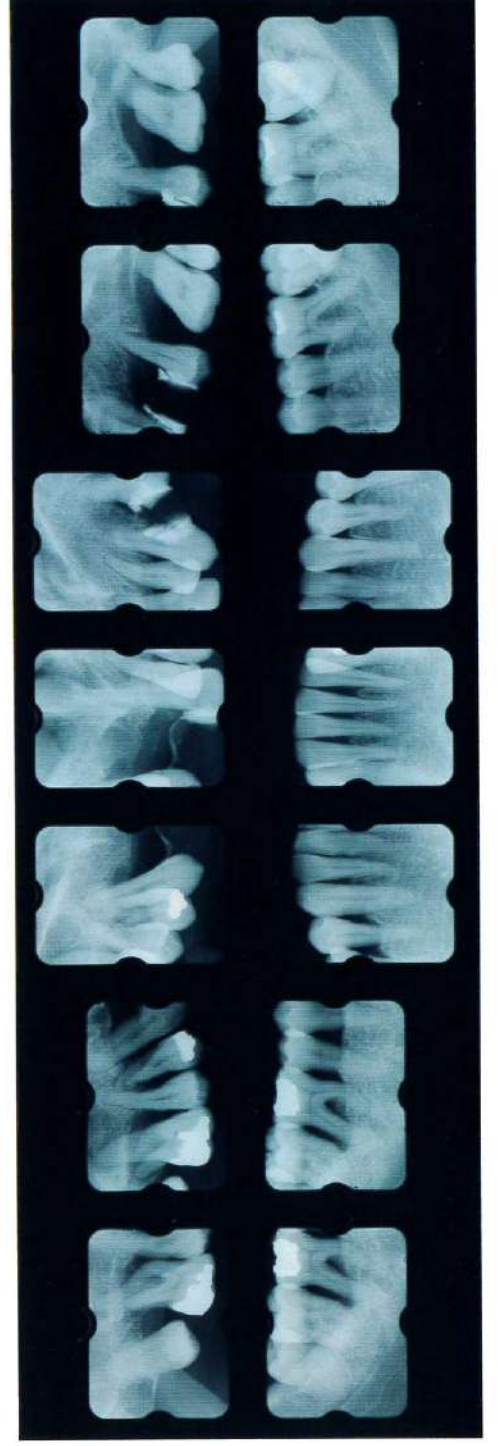


A

B

C

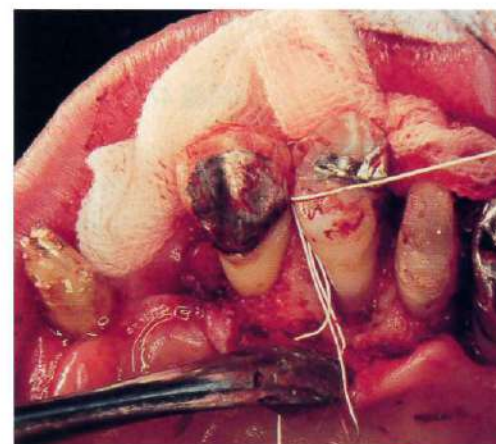
(問題 43)



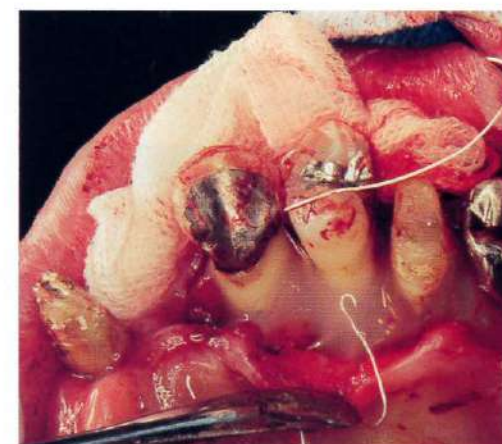
D



A



B



C

No. 11 写真

(問題 46)



No. 13 写真

(問題 48)



No. 12 写真

(問題 47)



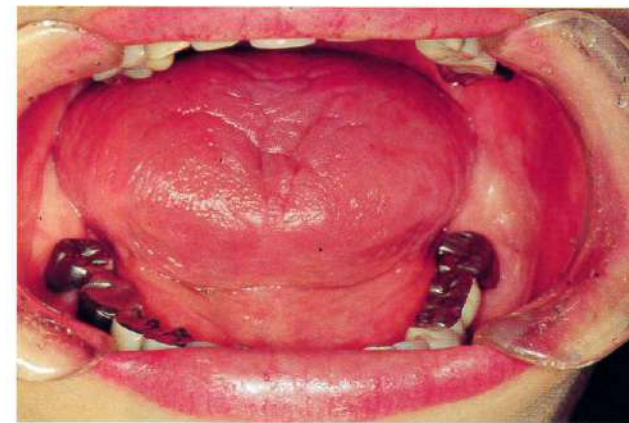
A



B

No. 14 写真

(問題 50)



A



B

No. 15 写真

(問題 51)



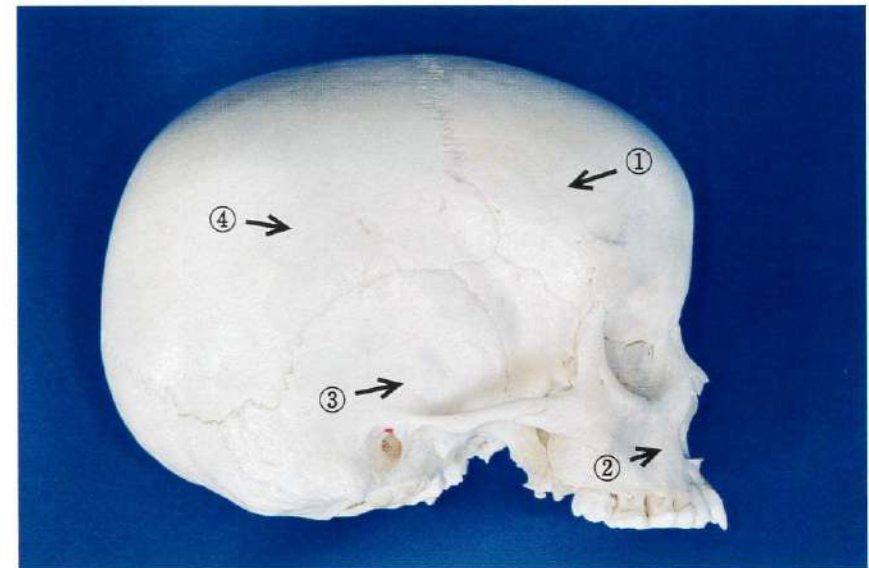
No. 16 写真

(問題 52)



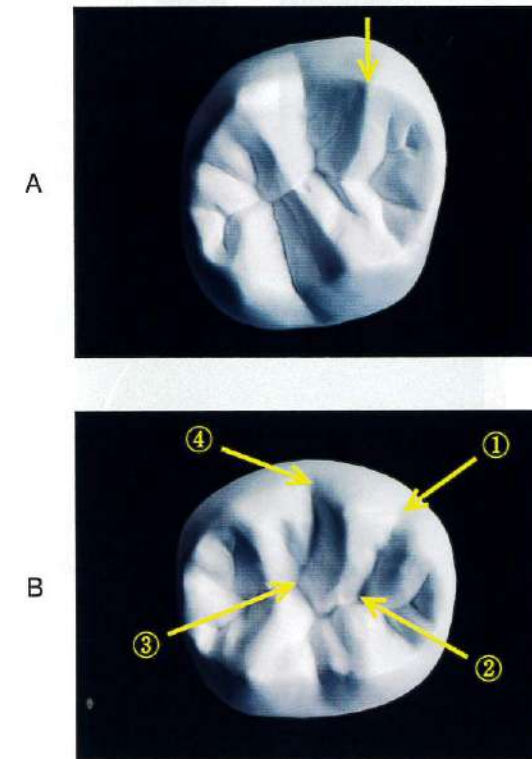
No. 17 写真

(問題 53)



No. 18 写真

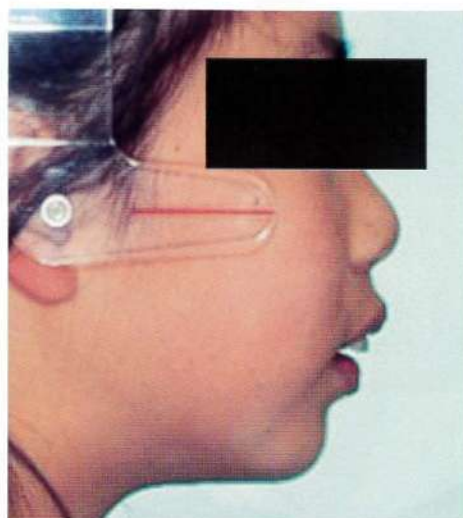
(問題 54)



No. 19 写真

(問題 55)

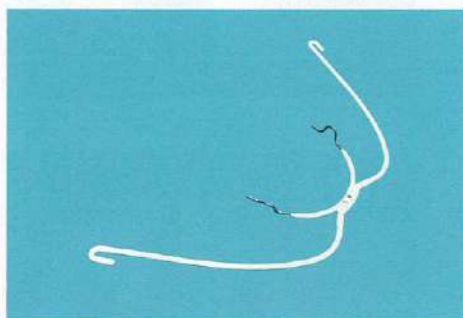
A



B



C



No. 20 写真

(問題 56)



No. 21 写真

(問題 57)



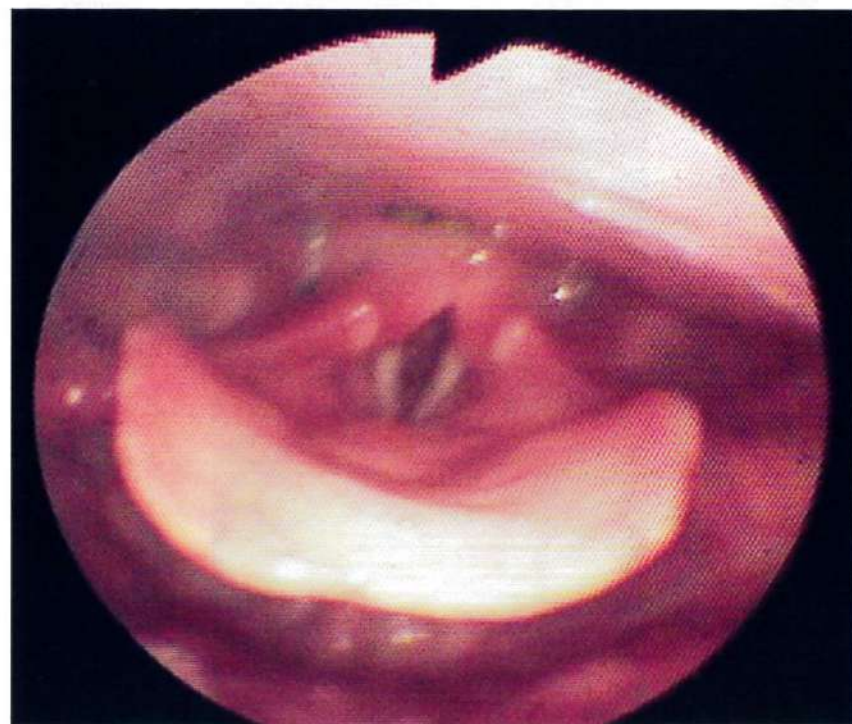
No. 22 写真

(問題 59)



No. 23 写真

(問題 60)



No. 24 写真

(問題 62)



A



B



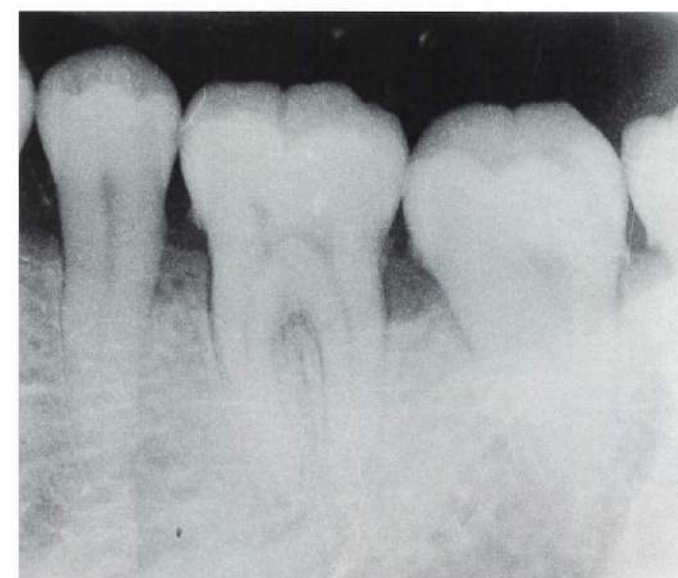
C



D

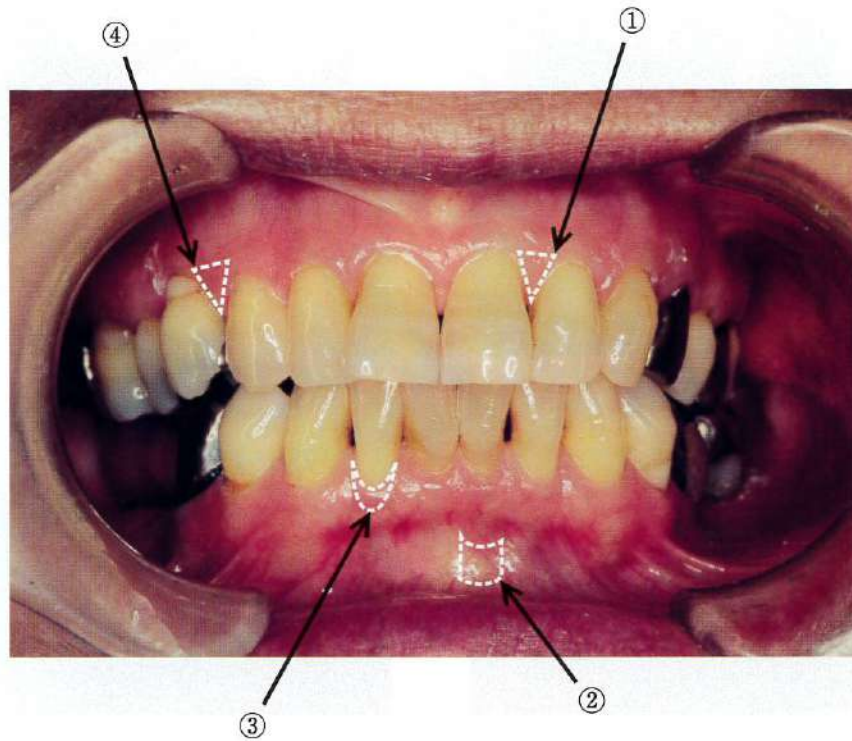
No. 25 写真

(問題 67)



No. 26 写真

(問題 68)



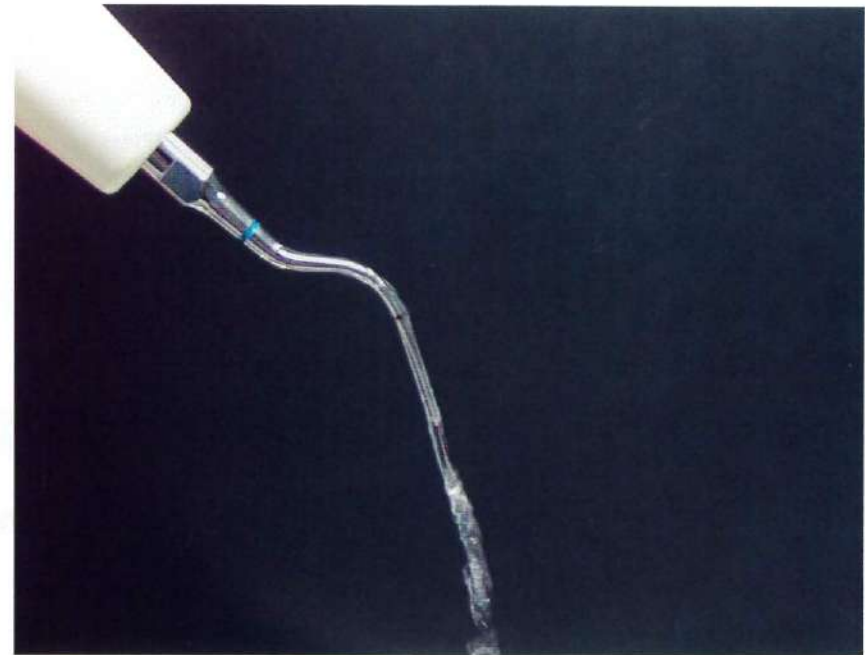
No. 27 写真

(問題 69)



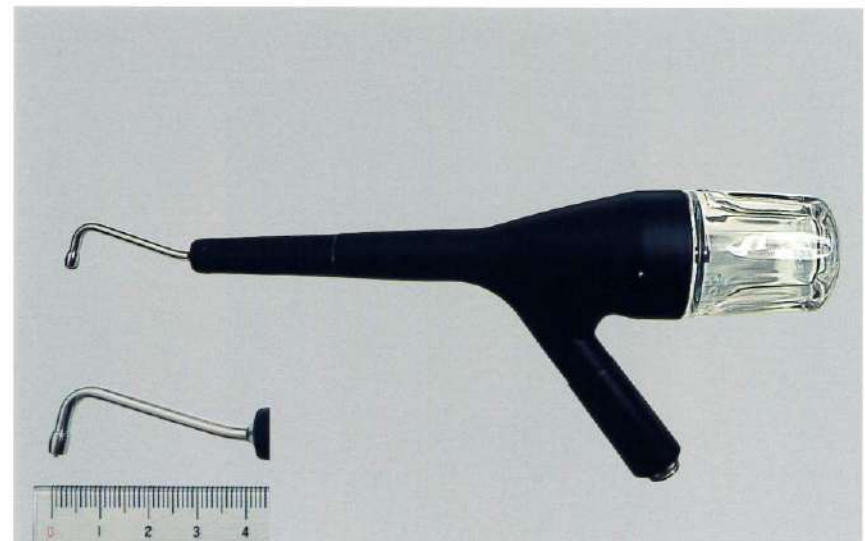
No. 28 写真

(問題 70)



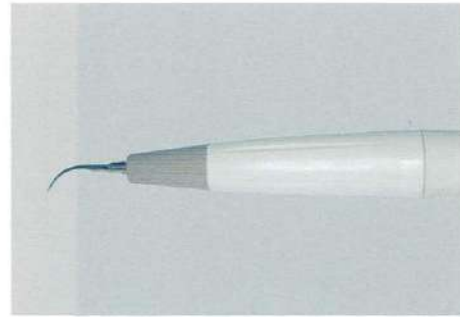
No. 29 写真

(問題 72)

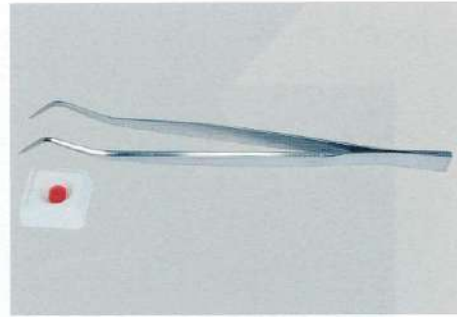


No. 30 写真

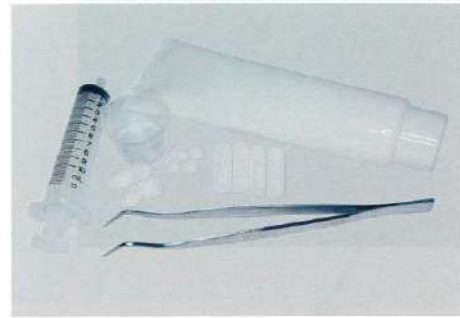
(問題 73)



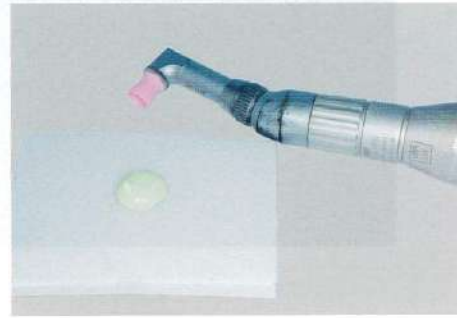
①



②



③



④

No. 31 写真

(問題 75)



No. 32 写真

(問題 77)



A



B

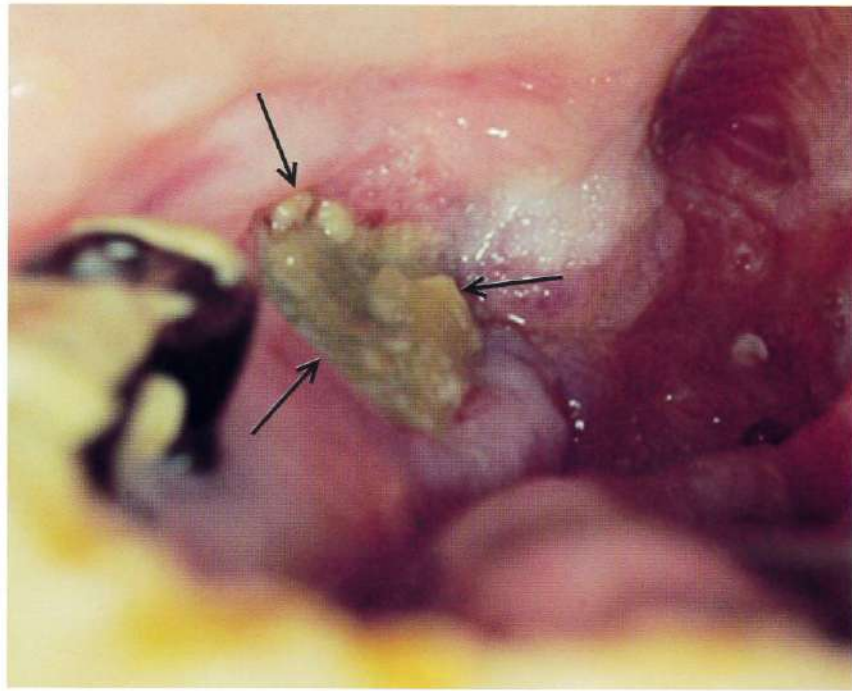
No. 33 写真

(問題 81)



No. 34 写真

(問題 83)



No. 35 写真

(問題 86)



No. 36 写真

(問題 87)



No. 37 写真

(問題 91)



①



②



③



④



A



①



②

B



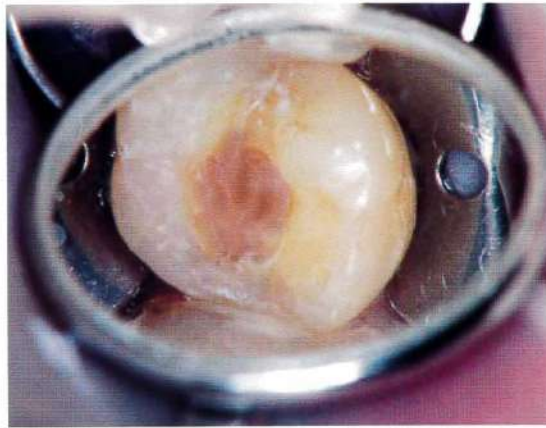
③



④

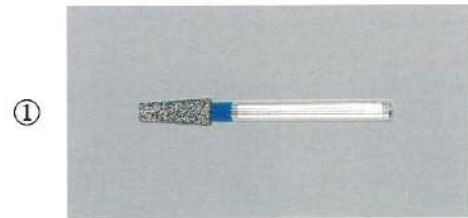
No. 40 写真

(問題 96)

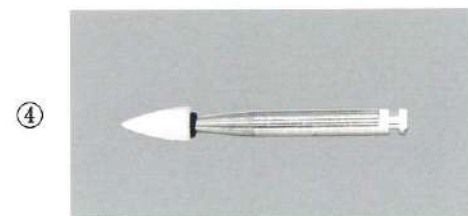


(ミラー像)

A



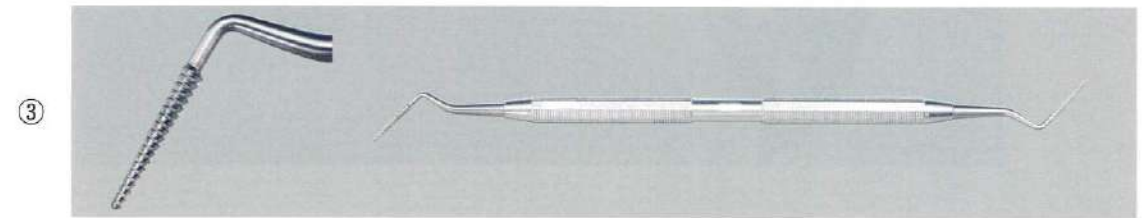
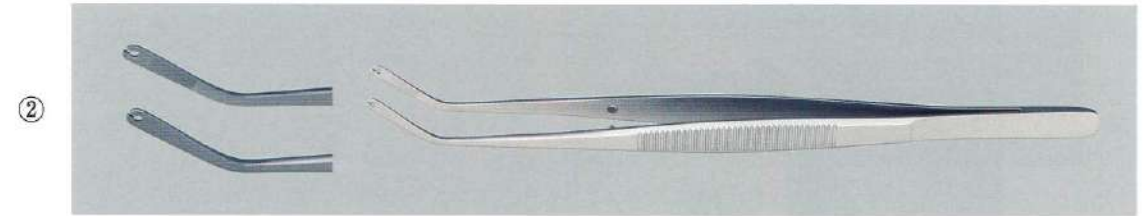
C



B

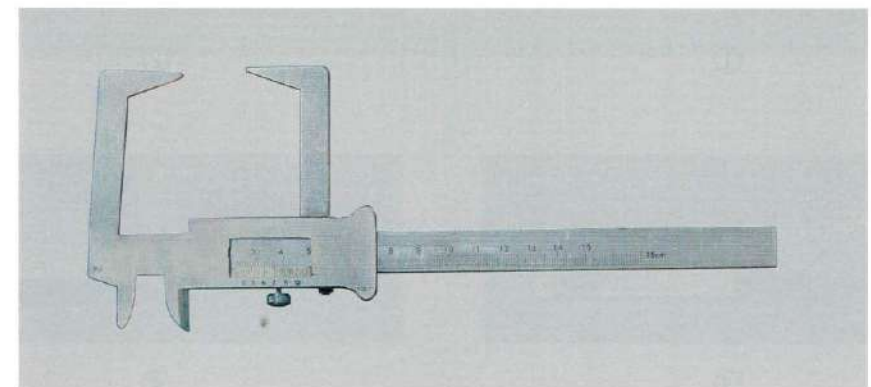
No. 41 写真

(問題 97)



No. 42 写真

(問題 98)



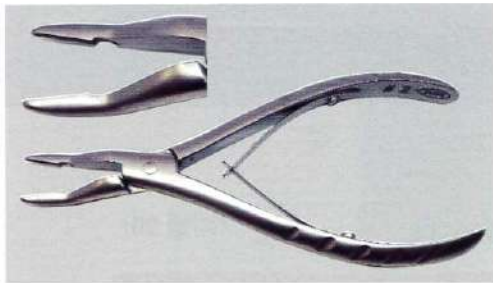
No. 43 写真

(問題 99)

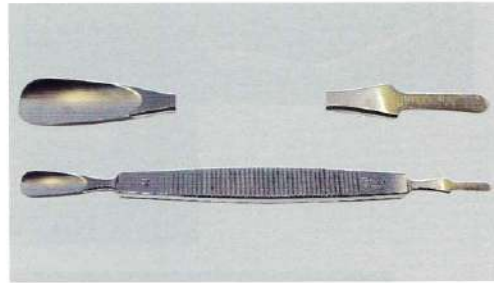


No. 44 写真

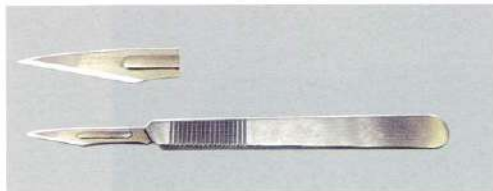
(問題 100)



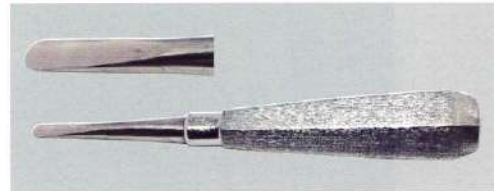
①



②



③



④

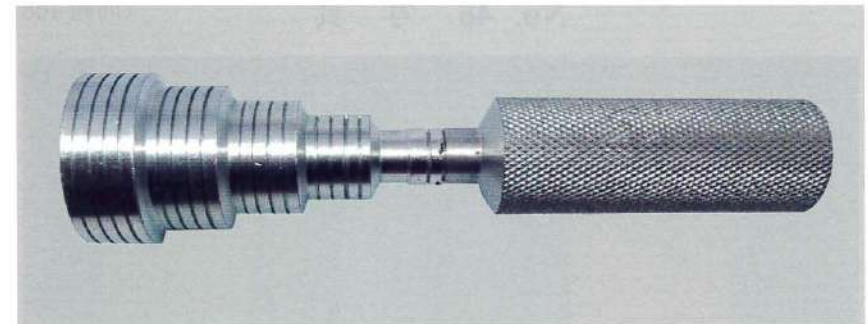
No. 45 写真

(問題 101)



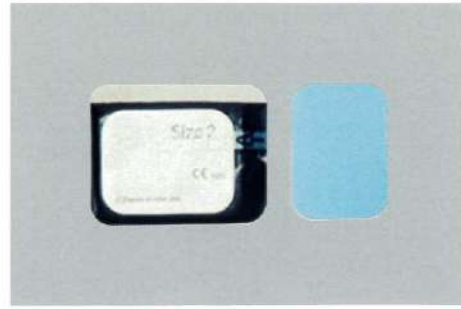
No. 46 写真

(問題 102)

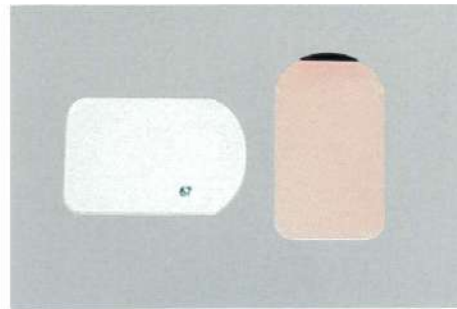


No. 47 写真

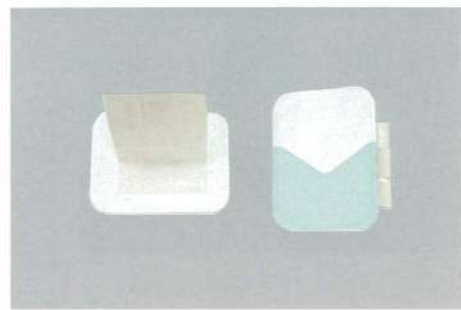
(問題 105)



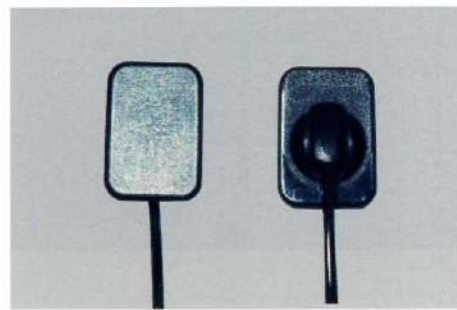
①



②



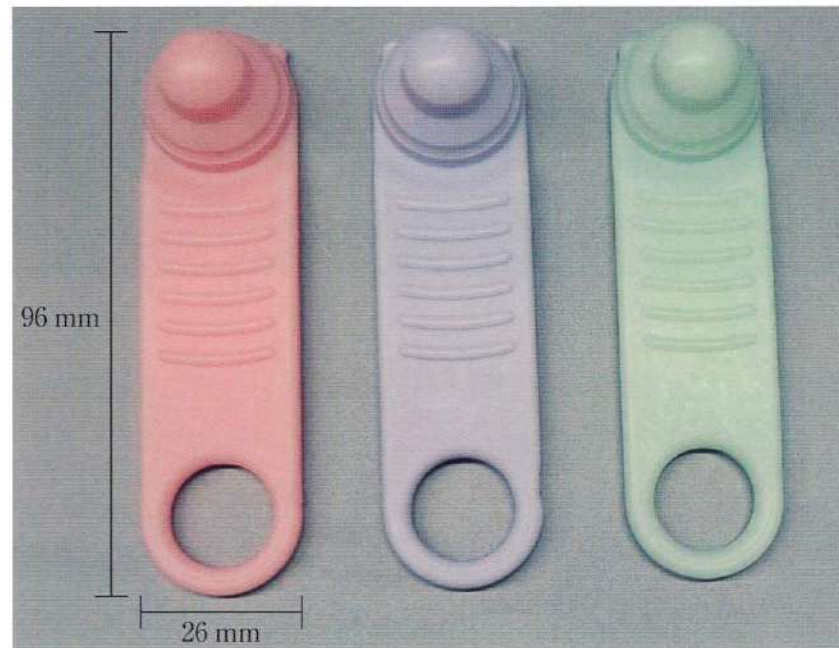
③



④

No. 48 写真

(問題 108)



No. 49 写真

(問題 109)



A



B